

農業のちからと福祉のちからを

農家の方の声

土作りから収穫、片付けまで、
全般に渡って作業してもらっている

つなぐ

福祉の方の声

自然の中で、土に触れ、
野菜を育て、収穫する喜びを感じる

農福連携コーディネーターの役割を知る

農 福

座学、ワークショップ、及びフィールドワークで、
農福連携の基礎知識と農業と福祉をつなぐ、
コーディネーターの役割を学び知る。



日 程 2023年10月1日(日)~10月29日(日)

時 間 13:30~16:30 全3回

受講料 3,000円 定員 30名

会 場 かながわ県民センター 11F
かながわコミュニティカレッジ講義室 他

※応募多数の場合は抽選

※定員に達しない場合は引き続き先着順で受け付けます。

申込締切 9月20日(水)



1

10月1日(日)
農業と福祉の現状と課題を知る

2

10月中旬
現場体験 農業と福祉の現場を知る

3

10月29日(日)
農福連携ボランティアとしての活動を知る

第2回は現場体験です。
現場体験(藤沢市北部) 予定

・現場体験は、現地集合、現地解散。
・現地までの交通費は各自でご負担。

プログラム詳細、
申込み方法などは裏面へ→

主催 認定NPO法人藤沢市民活動推進機構 協力 神奈川県

【お申込み・お問合せ】 認定NPO法人藤沢市民活動推進機構

TEL 0466-53-7366 E-mail : noufuku@f-npon.jp



講座カリキュラム

日時	講義内容	講師予定者
第1回 10/1(日) 13:30~16:30	農業と福祉の現状と課題を知る (1) 農福連携とは(九州からオンラインで講義) ・農福連携の定義、モデル、事例、効果 ・農福連携の全国動向 (2) 福祉の観点からの農福連携 ・障がい者就労支援等の福祉事情について ・障がい者特性について (3) 県内の事例紹介 ・モデル毎の事例	東海大学文理融合学部 経営学科 教授 濱田 健司氏 進和学園 統括施設長 久保寺 一男氏 藤沢市民活動推進機構 職員
第2回 10月中旬	農業と福祉の現場を知る(現場体験:藤沢市) ・農家の方、福祉事業所の方の生の声を聞く。 ・農福連携を体験する。 ※全4回開催(予定)のうち、どれか1回に参加して頂く。(現地集合、現地解散)	藤沢市内の農家及び福祉事業所 スタッフ 藤沢市民活動推進機構 職員
第3回 10/29(日) 13:30~16:30	農福連携ボランティアとしての活動を知る (1) 神奈川県における農福連携 ・県における福祉と農業の課題と農福連携事業 ・県事業における農福連携コーディネーターの役割 (2) ボランティア活動によるマッチングまでの流れ ・農福連携コーディネーターの活動内容 ・コーディネートのプロセス ・農作業受委託契約書の事例 (3) グループワーク ・コーディネーターの実体験を聞き、講座の振り返り	神奈川県福祉子どもみらい局 共生推進本部室 職員 藤沢市民活動推進機構 職員 農福連携コーディネーター

※プログラム・講師は都合により変更になる場合があります。

こんな方おススメ!

- ・農業と福祉の連携に興味のある方。
- ・共助の社会づくりに興味のある方。
- ・農福連携のボランティア活動に興味のある方。

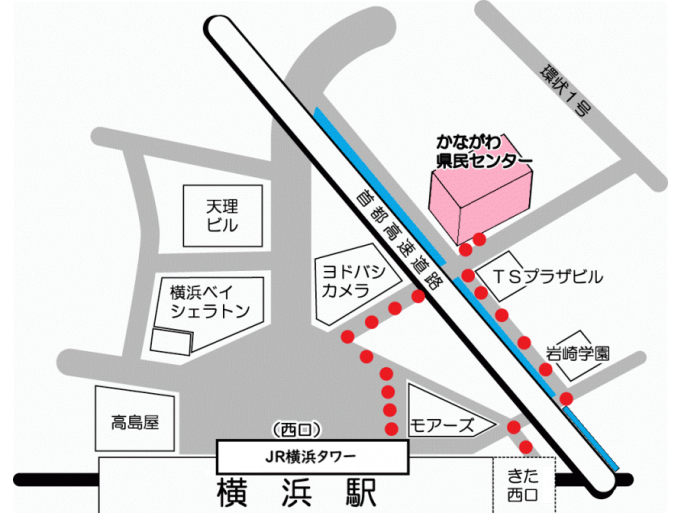
現場体験について

- ・現場体験の詳細は、申込み締切後、受講決定された方に、体験場所、開催日の予定をお知らせします。
- ・希望日をお尋ねしますので、ご都合の良い日を選択し、希望日をお知らせください。(参加は1回です)
(ご希望に添えないこともございますので予めご了承ください。)
- ・現場体験は、現地集合、現地解散です。
- ・現場までの交通費は各自でご負担ください。

講座申込みのご案内

- 受講対象**●
県内に在住、在勤、在学の方 または、県内でボランティアやNPO等として活動または活動を予定している方及び団体
- 申込方法**●
主催団体の藤沢市民活動推進機構(下記)へ、電子メールまたは電話で、**講座名・氏名(団体の方は、氏名と団体名)・住所・区分(個人・団体)・電話番号・メールアドレス**を、ご連絡ください。
TEL 0466-53-7366
E-mail: noufuku@f-npon.jp(農福専用)

会場のご案内



【会場】かながわコミュニティカレッジ講義室
 【住所】横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター11階

JR、京浜急行線、みなとみらい線、東急線、相鉄線ご利用の方
 横浜駅西口より徒歩5分 横浜駅きた西口より徒歩3分
横浜市営地下鉄ご利用の方
 地下鉄横浜駅出口8番から地下街を通り、中央モールを左折し、北6番出口を出て徒歩2分

